

年報

こころの樹

事業報告 平成 27 年度 (2015 年度)


tv asahi welfare foundation

テレビ朝日福祉文化事業団

検索



社会福祉法人 テレビ朝日 福祉文化事業団

はじめに

テレビ朝日福祉文化事業団は、民間放送系でははじめての社会福祉法人として昭和52年(1977年)に設立され、時代の要請に対応しながら社会福祉事業を繰り広げてまいりましたが、お蔭をもちまして、多くの皆さまにご理解、ご協力いただき、平成29年(2017年)に創立40周年を迎えることになりました。

現在は「児童福祉」「障がい者福祉」「高齢者福祉」「母子福祉」などが活動の柱になっていますが、障がい者福祉の「ハンディスキー全国親善大会」(第39回)、「車椅子バスケットボール秋季大会」(第38回)は、当事業団が創立当初から関わり第1回から主催者として名を連ねている事業で、これまで継続して開催し、回を重ねております。

また障がい者福祉では、「トゥレヴァン コンチェルト」が第7回を迎え、障がいのあるなしにかかわらず、多くの皆さまと一緒に時間を共有して共に音楽を楽しみ、心に響くコンサートとして、会場全体が感動に包まれ、大きな反響を呼びました。

近年では児童福祉の活動の比重が大きくなってきています。次世代を担う子どもたちが心豊かに夢を育て、生きる力を育むことができるよう、健やかな成長を支援するために児童養護施設の児童に向けた数々の事業を推進しています。平成13年度から始まった「高校生の海外生活体験の旅」(第15回)や小学校高学年・中学生対象の「農村ホームステイ体験の旅」(第3回)、“年間行事”として定着してきているとも言われる「子どもキラット!楽演祭」(第4回)などを実施しています。さらに平成26年度に久々に手がけた母子福祉では、母子生活支援施設で生活する親子を対象に「母子のためのテレビ朝日見学体験ツアー」を開催して好評をいただき、平成27年度もテレビ朝日館内に子どもたちの喜々とした笑顔があふれました。

子どもをめぐる社会環境・家庭環境が急激に変化し、少子化、児童虐待、子どもの貧困などが社会問題化している現在、ますます当事業団の事業を継続して開催・実施していく重要性を感じております。

一方で平成17年度から11年続いた高齢者福祉の「けやき坂カルチャー教室」が、会場のテレビ朝日多目的スペース「umu」の閉館に伴って、平成27年度をもって終了することになりました。今後は昭和62年度から始まり合計191回を数える「高齢者施設訪問」が高齢者福祉の中心となっていきますが、高齢化問題、貧困や認知症などの問題がクローズアップされている今、当事業団にとって高齢者福祉へのさらなる取り組みも急務と言えるかもしれません。

社会福祉法人制度の見直しが検討され、改正社会福祉法が平成28年3月31日に公布、社会福祉法人は様々な対応を迫られることになりました。当事業団では、それに先んじて平成27年度から「地域における公益的な活動」に取り組みしました。語りとピアノ演奏による“音語り”公演がその一つですが、「生涯学習会」や「地域交流促進のための場」として地域の多くの皆さまに喜んでいただけるよう、平成28年度にはさらに多くの自治体に働きかけて、「地域における公益的な取組」を進めていきたいと考えております。

テレビ朝日福祉文化事業団は、人びとの「こころ」に根づいた、優しさと思いやりの「樹」が、大きく育つことを願い、皆さまと共に「こころ」を一つにして、「こころ」のかよった“共に生きる社会”を目指して、拡大・多様化しているニーズに応える社会福祉活動を展開してまいりたいと思っています。

今後とも、皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団

社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団は、昭和52年(1977年) N E T からテレビ朝日への社名変更を機に、より幅広い社会福祉活動を目指して設立されました。昭和26年(1951年)制定の社会福祉事業法[平成12年(2000年)社会福祉法に法名改正]に基づき、社会福祉の増進を図ることを目的として、第二種社会福祉事業を行う社会福祉法人として申請・認可されたものです。

Contents

こころの樹

● Pick up

第7回 トゥレヴァン コンチェルト 2 ～ 3

中井貴恵 朗読公演 4 ～ 6

児童養護施設の児童対象 出前授業特別講座 7

● 児童福祉 8 ～ 16

● 母子福祉 17 ～ 19

● 障がい者福祉 20 ～ 24

● 高齢者福祉 25 ～ 26

● その他の福祉事業 27

● 平成27年度事業一覧 28

● 平成27年度会計報告 29 ～ 30

● その他 31 ～ 33

今年度は、女優・中井貴恵さんの朗読公演と、テレビ朝日広報局お客様フロント部・報道局映像センターの協力を仰ぎ、児童養護施設での出前授業を新たに実施しました。

朗読公演は、現在行っている助成事業に加え、社会福祉法人に新たに求められる「地域における公益的な取組」の実施の意味を含めて行ったものです。

今後も「音語り」「大人と子供のための読み聞かせの会」など心にしみる朗読公演を多くの人に届けられるよう様々な地域社会・団体に働きかけていきたいと思っています。

略語解説

(福) 社会福祉法人

(特) 特定非営利活動法人

(公社) 公益社団法人

(一社) 一般社団法人

(公財) 公益財団法人

(一財) 一般財団法人

(社) 社団法人

(財) 財団法人

(株) 株式会社

●第7回 トゥレヴァン コンチェルト

主催



観客の拍手に笑顔でこたえる出演者

「トゥレヴァン コンチェルト」は、障がい者福祉の柱となる事業です。障がいを乗り越えながら音楽の道を歩んでいる方々に演奏する場を提供し、多くの方楽しんでいただけるコンサートとして平成21年から継続して開催しています。

1400人が感動を共に

当日は朝から小雨が降り足元の悪さが心配されましたが、開場する頃には日差しも出て1400人ものお客様にご来場いただきました。ご年配の方や車椅子の方、盲導犬を連れた方、白杖を持つ方なども多く来場し、東京六本木ライオンズクラブ、東京原宿ライオンズクラブ、日本郵政グループ労働組合東京地方本部から参加した多くのボランティアの方々が、一般のコンサートより丁寧に来場者の案内・誘導を行いました。



▲入場者で賑わうロビー
会場内でも盲導犬と共に▶

館野泉さん4年ぶりの出演に大きな拍手

ムジークフェライン室内楽団の明るく軽妙な演奏で幕を開け、視覚障がいをもつソプラノの上田喬子さんがアリアを2曲続けて披露すると、会場はその歌声に華やかな雰囲気になりました。フルートの綱川泰典さんは、同じくフルートの大内雅美さん、ピアノの長



司会のテレビ朝日
久保田直子アナウンサー

澤晴浩さんが加わった綱川アンサンブルとして3曲を演奏、2本のフルートとピアノが織りなす軽やかで美しい調べが聴衆の心を満たしました。

休憩を挟んでスペシャルゲスト2組が登場しました。6年連続で出演している世界的ヴァイオリニストの川島成道さんは、エルガーの小曲、ミルシテイン

の無伴奏作品「パガニーニアーナ」など4曲を演奏した後、アンコールに応じてチャイコフスキーの「なつかしい土地の思い出」から「メロディ」を披露しました。最後に、病に倒れながらも平成16年に左手のピアニストとして復帰を遂げた館野泉さんが紹介されると会場から大きな拍手が沸き起こりました。バッハ／ブラームス「シャコンヌ」から始まり、「サムライ（館野泉に捧げる）」などに加え、アンコール曲のカッチーニ「アヴェ・マリア」を含め5曲を演奏、強い信念に貫かれたその多彩な音色と、超絶テクニックから紡ぎ出される心に沁みる音楽に聴衆は魅了され、左手だけで演奏されていることを全く感じさせない素晴らしいパフォーマンスでコンサートの最後を飾りました。

障がいの有無にかかわらず全ての人と共に音楽を楽しむ場を提供するこのコンサートは今後も継続して開催する予定です。



スペシャルゲスト館野泉さん



スペシャルゲスト川島成道さん

日 程	平成27年10月17日(土)
場 所	メルパルクホール(東京都港区)
主 催	テレビ朝日福祉文化事業団
共 催	東京六本木ライオンズクラブ 東京原宿ライオンズクラブ
後 援	港区・港区教育委員会・(福)東京都社会福祉協議会・(福)港区社会福祉協議会・テレビ朝日
協 力	日本郵政グループ労働組合 東京地方本部
運 営	障がい者芸術家を支援する会

ピアノ



館野 泉

1936年東京生まれ。60年東京芸術大学首席卒業。64年よりヘルシンキ在住。68年、メシアンコンクール第2位。世界各国で行った演奏会は3500回を超え、世界中の聴衆から熱い支持を得る。02年脳出血により右半身不随となるが、04年「左手のピアニスト」として復帰。シベリウス・メダル(06年)、旭日小綬章(08年)、東燃ゼネラル音楽賞本賞(12年)ほか受賞歴多数。06年左手作品の充実を図るため「館野泉左手の文庫(募金)」を設立。以降積極的に委嘱作品を発表し続けている。12年から13年で左手のピアノ音楽の集大成「館野泉フェスティバル〜左手の音楽祭」を成功させる。14年6月ベルリン・フィルハーモニー・カンマザールでのリサイタルは全聴衆のスタンディング・オベーションで讃えられた。著書「命の響」(集英社刊)CD「サムライ/海鳴り」(エイベックス・クラシックス)ほか

ヴァイオリン



川島成道

1971年東京生まれ。視覚障がいを持った幼少期にヴァイオリンと出会い、音楽の勉強を始める。桐朋学園大学卒業後、英国王立音楽院へ留学。97年同院を同院史上2人目となるスペシャル・アーティスト・ステータスの称号を授与され、首席で卒業。98年のデビュー以来英国と日本を拠点にソリストとして精力的な活動を展開し毎年多くのリサイタルと国内外の主要オーケストラとの共演を行う。CDは、ファースト・セカンドアルバムそれぞれ20万枚の記録の大ヒットとなって以来13枚をリリース。「ザ・ベスト」「川島成道 クライスラーを弾く」は、レコード芸術誌で特選盤に選ばれている。デビュー当初より積極的に国内外でチャリティーコンサートを行う。中学音楽鑑賞教材や高校英語・現代文教科書、高校入試問題やNHKラジオ高校講座「現代文」に映像や文章が使用されるなど社会派アーティストとしても多方面に影響を与えている。



綱川泰典アンサンブル
フルートデュオ&ピアノ

2002年3月から綱川泰典と長澤晴浩の共演、03年4月からの大内雅美と綱川の共演を経て、10年3月に本トリオの初共演となる。2本のフルートとピアノによる息の合った華麗なハーモニーが好評を得る。



上田喬子
ソプラノ

高知県出身。筑波大学附属盲学校(現視覚特別支援学校)高等部並びに専攻科音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部音楽学科声楽専攻卒業。04年、第54回ヘレンケラー記念音楽コンクール声楽部門にて奨励賞受賞。



ムジークフェライン室内楽団

2009年、早稲田大学フィルハーモニー管弦楽団と慶應義塾ワグネル・ソサィエティ・オーケストラ両楽団の元コンサートマスター、首席奏者を中心に結成。楽団名の「Musikverein」とは楽友協会の意。

🎤 ご来場の皆さまの声(抜粋)

- ★内容が充実していて、とても良かったです。綱川アンサンブルのフルートの音色に感動しました。ピアノとのハーモニーを再発見しました。
- ★各々が最高のパフォーマンスで、私たちに感動的な言葉で表現出来ない至福をたくさんたくさん与えて頂いたことに深謝申し上げます。感動的な、多分終生忘れぬコンサートでしょう。
- ★川島成道さんと館野泉さんの演奏は聴いていて震えがきました。館野さんは、本当に片手で演奏しているのかと信じられませんでした。また、私の友人が車椅子で参加したのですが、会場の係りの方に、大変親切にしていたので、感謝しておりました。
- ★視覚障がい者は今やいろんな分野で大活躍している人がたくさんいますが、当日は、音楽の分野で活躍されている方々の演奏を拝聴でき、おかげさまで秋の心地よい天候同様、大満喫させてもらいました。
- ★フルートの二重奏も印象深く、演奏の前に曲の説明をしていたので、イメージを膨らませながら聴く事ができとても良かったです。色々な楽器とソプラノとバラエティーに溢れた演奏会で、ガイドヘルパーさんと共に、大変楽しませて頂きました。
- ★障がい者も普通の人と同じだ、そう感じたひと時でした。
- ★演奏が素晴らしく視覚障がい者がハンディにならないと気づかされた。
- ★館野さんの演奏心に響きました。人はどんな状況でも成長すること、あきらめないことを教えていただきました。
- ★コンサートの企画に感動しました。苦痛と戦ってこれだけ素晴らしい演奏をできる方のいらっしゃる事を知り生きる勇気をいただきました。
- ★綱川アンサンブルは、その音色の美しさと、ピアノとの絶妙な演奏にびっくり!!川島さんの演奏は、縦横無尽のテクニックに、毎回目を見張ります。
- ★自分も頑張ろうと思った。障がい者をもっと外に出て楽しい日常が送れると良いです。
- ★これ程多くの視覚障がい者の方々が同じコンサートに集うのを初めて経験しました。こんな場があちこちで経験できたらこの世の中も少しは良くなったと感じられる気がします。
- ★障がい者に消極的にならずに自立して音楽家として成功して生活されている人達の演奏を聞かせてもらって良かったです。自分の中にある「手助けしなければ」という高慢な思いを恥じています。
- ★館野さんの苦労されたことが心にしみました。演奏を聴きながら片手で弾かれているとはとても信じられないと涙が出てきました。

●中井貴恵 朗読公演

共催 助成 協力



「音語り あらしのよるに」で中井貴恵さんとピアノ演奏の松本峰明さん

今年度の新規事業として女優中井貴恵さんの朗読公演「音語り 東京物語 ～小津安二郎映画を聞く～」(品川区との共催事業)・「音語り あらしのよるに」(市川子ども・子育て支援施設大会への協力事業)・「中井貴恵 with 大人と子供のための読みきかせの会 おおきなかぶ」(千葉県児童福祉施設協議会・千葉県母子生活支援施設部会へ助成事業)の3つを開催しました。

音語り 東京物語

～小津安二郎映画を聞く～

小津安二郎監督作品の脚本をジャズピアノ演奏と共に朗読する「音語り 東京物語」を品川区と共催で初めて開催しました。



「音語り 東京物語」で朗読する中井貴恵さん

当日は息苦しいほどの暑さにもかかわらず開場時間を過ぎるとたくさんの人が来場し開演時には350席がほぼ満席となりました。中井さんが幼いころの小津安二郎監督との思い出話や「東京物語」に因んで東京に縁ある音楽を楽しむ「トーク&ライブ」の後、休憩を挟んで中井さんが精力的に取り組んでいる小津作品を読む「音語り 東京物語」を上演しました。映画のメインキャストである老夫婦・3人の子ども達・戦死した次男の嫁はもとより、老夫婦の隣家のおばさんから長女の連れ合い、長男の嫁、尾道の医者に至る全ての出演者とト書き・ナレーションまでを1人で演じ、その場面、場面に松本峰明さんのジャズピアノが寄り添って物語は小津映画そのものに肅々と進んでいきました。笠智衆さん東山千栄子さんを思い浮かべながら聞き入っていた人、ストーリーを辿り当時の風景や時代の情感に浸っていた人、それぞれが「音語り 東京物語」を堪能したようでした。終演後、出口に向かう来場者は余韻を楽しむように帰路についていきました。



ジャズピアニスト松本峰明さん

日程：平成27年7月29日(水)

場所：スクエア荏原 ひらつかホール(東京都品川区)

共催：品川区・テレビ朝日福祉文化事業団

音語り あらしのよるに

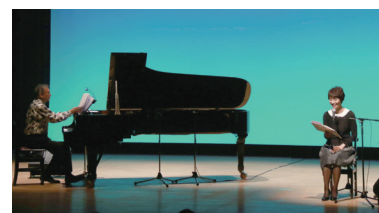
300万部を突破する人気絵本シリーズ「あらしのよるに」をピアノの演奏と共に朗読する「音語り あらしのよるに」を第41回市川子ども・子育て支援施設大会の第2部記念講演として行いました。この大会は市川市で社会福祉法人や学校法人が運営する認可保育所、認定子ども園、母子生活支援施設、児童家庭支援センターの職員の永年勤続を表彰するもので、今年度は87人の



中井貴恵さん音語りCD「あらしのよるに」

方々が表彰されました。式典後の第2部は「皆さんにとってジャズってどんなイメージ?」「不良っぽくて不健康?」から始まり前半は中井貴恵さんと松本峰明さんのジャズトーク。お馴染みの「どんぐりころころ」のジャズアレンジや「イツ・ア・スモールワールド」ジャズver.の中に散りばめられた曲名を当てるゲーム等会場に集まった保育士さんや施設関係者も聞きなれた音楽がジャズにアレンジされる新鮮さを存分に楽しんでいました。「あらしのよるに」の音語りが始まるといつも施設で読み聞かせをしている保育士さ

んや関係者もジャズピアノと朗読の相乗効果をじっくり味わっていたようでした。



市川子ども・子育て支援施設大会で

日程：平成27年11月7日(土)

場所：行徳文化ホールⅠ&Ⅱ(千葉県市川市)

主催：市川子ども・子育て支援施設協会

後援：市川市ほか

第2部 協力：テレビ朝日福祉文化事業団

中井貴恵 with 大人と子供のための読みきかせの会 ～おおきなかぶ～

小さな子どもを持ち、施設にこもりがちな母子生活支援施設で暮らす母子を招待して絵本の読み聞かせ公演を開催しました。「大人と子供のための読みきかせの会」がこれまでに作成した15作の大型絵本の中から今回はアイルランドの絵本作家ニアム・シャーキー版の絵本を中井貴恵さんが翻訳した「おおきなかぶ」を読んでもいただきました。

当日は寒い日となり風邪などで会場に来られなかった方たちもいましたが、お母さんや施設の職員と一緒に赤ちゃんから中高生の児童までたくさんの子どもたちが元気に会場に集まりました。「みんな野菜は好きですか?」「はい」、お話が始まる前にまず中井さんが黒板ほどの大きな絵本に色々な野菜の種をまき、水をやります。絵本の中では双葉がでて花が咲き、「どん

な野菜になるのかな?」黄色いお花はきゅうりに、細い葉っぱはにんじんに、とたくさんの野菜が獲れて子ども



大人と子供のための読みきかせの会のメンバー

たちは大きな絵本の世界に引き込まれていきました。お馴染みの掛け声「うんとこしょ、どっこいしょ!」を大きな声で練習していよいよ本番。大きく育ったかぶを抜こうとおじいさんとおばあさんに1匹の牝牛、2匹のブタ、3匹のねこ、4羽のめんどり・・・どんどん増えて総勢2人と21匹(羽?)になってみんなの掛け声にも力が入りますがなかなか抜けないかぶ。最後に、腹ペコネズミが加わるとやっとこさかぶが抜けてみんなからも力が抜けて「フー」、かぶのシチューをおなかいっぱい食べて幸せそうなネズミがラストシーンを飾りました。一時間余りの短い時間でしたが参加した方たちはこのひと時を楽しみ、笑顔浮かべ子どもたちと帰って行きました。



大型絵本のラストシーンを飾ったネズミさん

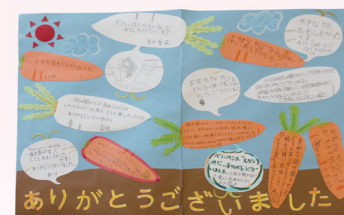
日程：平成28年1月24日(日)

場所：千葉県男女共同参画センター イベントホール(千葉県千葉市)

主催：千葉県児童福祉施設協議会
千葉県母子生活支援施設部会

共催：テレビ朝日福祉文化事業団

後援：千葉市



中井貴恵さんと音語り～小津安二郎映画を聞く～

平成18年から音楽と朗読を組み合わせた朗読公演「音語り」に取り組み、絵本を題材とした「あらしのよるに」「きいろいバケツ」を制作、平成21年に映画監督小津安二郎の作品「晩春」を初演したのを皮切りに年一回のペースで作品を作り、現在「秋日和」「東京物語」「お早よう」「秋刀魚の味」を加えた5作品を日本各地で上演しています。

Q. 「音語り」を始めたきっかけは何ですか？

平成10年から「大人と子供のための読みきかせの会」として、小学校、幼稚園などで大型絵本を使った読み聞かせ活動が続けてきました。それとは別に、大人の方たちにもお一人でも気軽に参加していただける朗読と音楽だけの作品を作ろうと思ったのが始まりです。

Q. 音楽と朗読の融合作品を「音語り」とした由来は何ですか？

音楽が朗読のBGMとして流れるのではなく、朗読と音楽が対等な形で存在するそんな作品を作りたいという気持ちを表現しました。

Q. 敢えて映画を、その中でも小津監督の映画作品を「音語り」として公演しようと思ったのはなぜですか？

小津監督には、幼少の頃孫の様に可愛がっていただいていた。監督が残されたエッセイとかを読むことが出来なかつたかと思ひ、その気持ちを小津映画の制作担当だった山内静夫さんにご相談したら、「映画の脚本を読んだらいいじゃないか」というアドバイスをいただいたのがきっかけです。小津安二郎監督と幼少期の中井貴恵さん



Q. その際、どんな所に苦労しましたか？

朗読公演を聞いていただいた後に、映画を1本見た気持ちになっていただきたいので、印象的な映像シーンをどう表現していくか、どのシーンを残すかなど、台本を仕上げるまでに時間をかけています。

Q. 映画作品を朗読公演する上で気を付けていることは何ですか？

各々の役者さんが作り上げた役のイメージを大切に表現することを心がけています。

Q. 「音語り～小津安二郎映画を聞く～」を聞きに来るお客様に作品を通して伝えたいこと、感じてもらいたいことは何ですか？

目で見る映画を、言葉で聞いていただくので、言葉を通して小津映画を感じていただきたいと思っています。

音語り

女優・中井貴恵さんの朗読とジャズピアニスト松本峰明さんの奏でるピアノの音色で創り出されるイメージの中で、聞き手が自分の感性で作品を完成させていく「音語り」。

小津監督映画、絵本と題材は違っても役柄を見事に演じ分ける中井貴恵さんの語りと、その声に寄り添い時にはリードしながらハーモニーを奏でる松本峰明さんのピアノ演奏が聴衆を魅了します。

●主な作品

小津安二郎映画を聞くシリーズ

「晩春」「秋日和」「東京物語」「お早よう」「秋刀魚の味」

絵本シリーズ

「あらしのよるに」「きいろいばけつ」

大人と子供のための読みきかせの会

中井貴恵さんが自らの子育てで仲間になったお母さんたちと平成10年10月から実質的な活動を開始。毎日が忙しく過ぎていく大人たちと、大人以上に忙しい子供たちに、大型の絵本を見ながら美しい音楽と楽しいお話を聞いて、ともにゆったりとした時間を過ごしてもらいたいという願いをこめて公演活動をしています。

●主な作品

「きつねの子シリーズ」「1000の風1000のチェロ」「はだかの王さま」「おじいちゃんがおばけになったわけ」「ちいちゃんのかげおくり」「おかあちゃんがつくった」ほか

朗読：中澤貴恵子/作曲：荒井素子

音楽：荒井素子(ピアノ)・高槻真理子(ピアノ)

パネルシアター制作：平野知代子・宗佳代子

照明：加藤悦子

Pick up

● 児童養護施設の児童対象 出前授業特別講座

主催



インタビュー番組の収録体験

テレビ朝日広報局お客様フロント部が平成16年から学校単位で行っている出前授業を児童養護施設で暮らす児童を対象に行いました。学校と比べて少人数で、参加者も小学校低学年から高校生まで幅広く、通常の授業とは異なりましたが、お客様フロント部はもとより、講師として協力してくれた映像センター、OBの皆さんの他参加者や施設職員の協力を得て開催することができました。

埼玉県さいたま市の児童養護施設カルテットでお客様フロント部の方たちに講師をお願いし、第1回目の出前授業を行いました。

小学校2年生から高校生まで11人が2階ホールに集まり、「ニュースができるまで」「テレビの仕事」について、映像や



元気に手を挙げて答える参加者

講師の体験談を交えた授業を受けました。実際のニュース映像を見ながらそれぞれがアナウンサー・コメンテーター・フロアディレクターに扮して朝番組のニュースコーナーを再現する体験では、少し照れながら役割をこなし、秒単位に決まっているニュースの進行に四苦八苦しながらも初めての時間との戦いに笑顔を見せていました。

東京都立川市の至誠学園での第2回目出前授業では、映像センターからカメラを借り、テレビ朝日福祉文化事業団の担当者、映像センターカメラデスク、OBの方たちで「ニュースができるまで」「報道カメラマンの仕事」インタビュー



本物のテレビカメラは大人気

番組制作に挑戦」の授業を行いました。報道カメラマンの仕事に特化した話や映像に参加児童も見学の職員の方たちも興味をもつ

て授業を受けていました。特に本物のテレビカメラは大人気で、休憩や授業終了後も講師とカメラの周りには児童が順番待ちをするほどでした。



大きな声で発声練習

カルテット

日程：平成27年4月5日(日) 13時30分～

場所：さいたま市児童養護施設カルテット(埼玉県さいたま市)

主催：テレビ朝日広報局お客様フロント部
テレビ朝日福祉文化事業団

参加者：11人(小学生5人、中学生5人、高校生1人)

至誠学園

日程：平成28年3月13日(日) 14時～

場所：至誠学園(東京都立川市)

主催：テレビ朝日福祉文化事業団

協力：テレビ朝日広報局お客様フロント部
テレビ朝日報道局映像センター

参加者：8人(小学生4人、中学生3人、高校生1人)

児童福祉

● 児童養護施設で生活する 高校生の海外生活体験の旅

主催



さよならパーティーを終えてホストファミリーと

児童養護施設で生活する高校生たちがホームステイをしながら英会話を学び、アメリカの文化に直に接して現地の人たちと交流する「高校生の海外生活体験の旅」は児童福祉事業の中核となる事業です。参加する高校生がこの経験を通じて視野を広げ、未来に向かって前向きに進む姿勢を育むことを目的とするこの旅は、今年度で15回目、シアトルでの実施は6回目です。書類選考・面接を実施した結果、男子4人・女子6人の計10人が審査を通過しアメリカ・ワシントン州シアトル7泊9日の旅に参加しました。

初めての海外ホームステイ

成田から飛行機に乗って約9時間半後、生まれて初めての海外ホームステイの旅に期待と不安を胸にシアトル空港に降りた10人。シアトルの真っ青な空と



英語レッスン

120年ぶりの暑さに出迎えられ、シアトルでのホームステイが始まりました。企業や大学の見学ツアーや観光だけでなく、1家庭に1人ずつ預かっていただくホームステイがこのプログラムの重要な柱です。参加者たちが自分の力で現地の生活に溶け込み、四苦八苦しても色々な人と交流する力を自然に身につけてもらうためですが、ホームステイ初日の夜を過ごした翌朝には、「言葉が通じない」と悲鳴を上げていた参加者たち。ホームシックになるのでは？と少し心配したものの、ホストファミリーと過ごした週末が明けると見違えるようにコミュニケーションをとることができるようになり、その後もどんどんパワーアップ、「英語が話せるようになりたい」「異文化交流したい」という目標を軽々とクリアしていました。

同級生のような仲間たち

会話をすることを目的とした英語レッスン、地元のボランティアと参加したフードバンクでの食料配布、アメリカの広大な自然に触れたマウントレニア山麓での散策、どのプログラムも思いきり楽しんだ10人の参加者たち、学年も性別も住んでいる地域も違う10人がホームルームや移動中に前の晩の出来事やホストファミリーの話をする様子はまるで同級生のようで、この貴重な体験を共にした仲間としてずっと心に残るのではないかと思います。



男子はワシントン大学のシンボルWの前でWピース

涙と笑いのさよならパーティー

ホストファミリーを招いてのさよならパーティーでは参加者たちが司会や進行、芸の披露など色々な役割をこなし、日本文化紹介のプレゼンテーションをした後、ホストファミリーに感謝の気持ちを込めたお礼の手紙を渡しました。感極まって泣いてしまう参加者をファミリーが皆でハグしてくれる様子はこのプログラムの意義を感じさせ、胸が熱くなる光景でした。



女子はワシントン大学噴水前でジャンプ

再会を誓って！

始まった時には長く感じた7日間はあっという間に過ぎていきました。アメリカと日本の文化の違いを感じ、日本の方がいいと思う人もいればアメリカが

合うなど感じる人もいましたが、皆がこの海外生活体験の旅を十分に楽しんでいました。お別れの朝には「もっとシアトルにいたい」と口を揃えて訴えていた参加者たち。それは何より文化の違いや言葉の壁を感じさせないホストファミリーの温かいもてなしがあったからだと思います。勇気をもって新しい世界へ一歩を踏み出した彼ら、後押ししてくれた関係者に感謝しながら、この経験や出会った人々を人生の糧とし視野を広く持って今後の生活に生かしてくれることを願っています。



出発の朝プレスビテリアン教会前



さよならパーティー

日 程：平成27年7月30日(木)～8月7日(金) (7泊9日)

場 所：アメリカ ワシントン州シアトル

参加者：高校生10人(男子4人、女子6人)
東京・神奈川・埼玉・千葉の児童養護施設

主 催：テレビ朝日福祉文化事業団

共 催：(福)東京都社会福祉協議会児童部会

後 援：(公財)原田積善会

参加高校生の感想文(抜粋)

☆Tくん 高3男子

僕は英語で外国人と話せるようになりたいという事と、外国の文化を知るためにシアトル短期留学をしました。ホストファミリーと映画館に行った時観客のほとんどがアクションの1つ1つに声を出して驚いていました。上映中は静かにすることがマナーと思っていた僕にとってはとても新鮮でした。またシアトルに行きたいです。

☆Mさん 高3女子

この企画に参加できたから見たものが沢山あったので、挑戦して本当に良かったと思います。大切な仲間もできたし、ここでの経験をバネにまた次に繋げていこうと思います。目標としていたもの以上のものを習得できたと思うし参加する前の自分よりも少し成長できた気がします。

☆Kさん 高1女子

「使える英語を学ぶ」は私の目標の一つでした。以前から聞いていたように日本人のならう英語はすごくかたくてあまり会話には向かないと、シアトルに行って実感しました。けれど(逆に)中学で習った英語がすごくたくさんあって驚きました。

☆Kくん 高2男子

シアトルで過ごした一週間は本当に良い思い出になりました。シアトルに行ったことにより今までよりもずっと留学したいという気持ちが強くなりました。しっかり勉強して、大学に行ってから留学できたらいいなと思います。そのためには、今は英語をしっかり勉強頑張りたいと思います。

☆Mさん 高3女子

ホストファミリーはとても優しく、常にノリノリな方たちでした。私の英語を頑張ってくれたので、はじめは自分から話すことができなかったのですが過ごしていく中で積極的に英語を話せるようになりました。

☆Oさん 高3女子

事前説明会で「今回であったメンバーは一生忘れられない人たちになるでしょう」と聞いて、初対面で一週間過ごすのも難しいだろうと思っていました。しかし、気が付いたらみんなと普通に話していました。これからも出会った仲間を大切に、将来に向けて頑張っていきたいと思います。

☆Kさん 高2女子

ホストファミリーとは沢山色々な場所に行きました。その中でホストファミリーと片言だったかもしれませんが話せる程度までの英語力を身に付けられました。私は一緒に行った皆やホストファミリーと過ごせた短い時間を一生忘れられません。

☆Yくん 高2男子

今回の旅で日本と海外の違いを肌で触れて感じる事ができました。英語の必要さを忘れずに授業や勉強に打ち込んでいきたいと思います。

☆Kくん 高2男子

私のホストファミリーはさよならパーティーの時緊張していた私を助けてくれ、さらに私の発表が最高だったとほめてくれました。家に帰ると手紙をわたしてくれ、泣きそうになりました。またいつか、英語を話せるようになってから楽しく思い出話をしたいです。

☆Nさん 高1女子

今回、この企画に参加したことで、自分から意見を伝えることの大切さを学びました。今後、それを活かすことのできる場面は、たくさんあると思います。それらの場面で学んだことを活かし、かつ、さらに人をまとめるなど他の事にも手を回せるくらい成長できるよう頑張っていきたいと考えています。

●第4回 子どもキラット！ 楽演祭

主催



ダンスで思いきりジャンプ

児童養護施設で暮らす子どもたちの発表会「子どもキラット！楽演祭」を東京・虎ノ門のニッショーホールで開催しました。

このイベントは、「子どもたちに発表の場を設けてほしい」という児童養護施設からの要望で実現し、児童養護施設で暮らす子どもたちの明るく健全な個性を育むことを目的としています。

今年度は、東京・埼玉・神奈川から12施設が出演し、総出演者数はのべ276人。見学のみの1施設を含め13施設約500人が参加し、幼児、小・中学生、高校生と職員が、歌やダンスなど15演目を熱演、会場は熱気にあふれました。

ダンス・合唱・楽器演奏と練習の成果を披露

朝からのリハーサルを終え、13時半からいよいよ楽演祭がスタート。演目は、キッズゴスペル、バンド、創作舞踊、合唱、トーンチャイムや



練習してきたゴスペルをノリノリで披露

ハンドベルの演奏に加え、ダンスは5演目。男子高校生がK-POPのリズムにのってソロダンスを披露した他、ヒップホップダンス、ストリートダンスなどを笑顔で上手に踊る子どもたちの姿に、ダンスのレベルの向上と、ダンス人気を実感しました。ダンスと合唱など2演目で出場を希望する施設も増えました。

ゲストのアクロバットコントに大爆笑

今年度は司会者にテレビ朝日のアナウンサーに加え「高校生の海外生活体験の旅」に参加した高校生の男女二人がチャレンジ、大きな舞台上見事大役を果たしてくれました。



テレビ朝日森葉子アナウンサーと
高校生の海外生活体験の旅に参加した二人が司会

スペシャル応援ゲストは、元体操選手のオラキオさんと、元自衛隊員のテキサスさんの肉体派お笑いコンビ「弾丸ジャッキー」のお二人。ダイナミックでアクロバティックな動きと軽妙なトークを披露し、会場は大爆笑の渦に包まれました。「大笑いする楽しい時間が大切」と思える瞬間でもありました。

最後は「幸せなら手をたたこう！」の大合唱

エンディングは舞台にたくさんのちびっ子たちが集まって「幸せなら手をたたこう！」を全員で合唱しました。「弾丸ジャッキー」のお二人も



弾丸ジャッキーのパフォーマンスに会場は大盛り上がり



来年もまた会いましょう

加わり、子どもたちは大興奮！活気あるステージは最高に盛り上がり、最後に舞台上がって記念撮影をした時にはみんなの笑顔がますます輝いて、約4時間の「楽演祭」は終演となりました。



澄んだ音色のトーンチャイム



カバー曲に挑戦したバンド演奏

参加施設の感想文（抜粋）

- ☆初めて参加させて頂きました。想像していたより大きくて豪華な舞台で、驚きました。参加した子どもにとっては、自分の演目をたくさんの人に見てもらい、反応を見られるとても良い機会だと感じました。ぜひ、来年以降も希望者がいれば参加させたいと思いました。
- ☆達成感や緊張感を味わうことができ、子どもたちが持っている可能性を引き出す楽演祭であったと感じております。弾丸ジャッキーさんはとても面白く、会場全体が盛り上がっていて良かったと思います。
- ☆この会は、子どもたちが活躍できる場で自信にもつながるので、ぜひ続けてほしいです。
- ☆このような本格的なステージでの発表を経験させてただけで、子どもたちの自信や励みにつながっており、ぜひ、これからも継続していただきたいです。どの施設も見ごたえのある発表でした。弾丸ジャッキーさん、とても楽しかったです。
- ☆練習の過程では大変な事ばかりですが、本番の子どもたちのキラキラした姿と、ピシッときめてくれる様子に、毎年感動します。他施設の皆さんの取り組みをみることも勉強になりますし、喜びでもあります。司会の高校生二人をアナウンサーの方がフォローして、とてもなごやかな雰囲気良かったです。
- ☆他施設の発表を見られることで、他施設の取り組みなどが見られてよかった。このような発表の場があることで、子どもたちの練習にも力が入った。発表後、「緊張したけど楽しかった」という声が、子どもたちから聞かれたのがよかった。色々なパフォーマンスが見られて楽しかったです。
- ☆全体のレベルの高さに驚かされました。子どもたちもこの行事を非常に楽しみにしており、今の時点で、来年もぜひ参加したいという声も聞かれています。照明・演出なども素晴らしかったです。

- ☆年間通してトーンチャイムの活動をしています、発表する機会はないので、毎年嬉しく思っています。大きな会場なので、日頃の練習のモチベーションもあがります。また、他施設の方の発表も楽しく良い刺激になります。ゲストは、子どもたちが素直に楽しむことができる芸人さんでよかったと思います。会場とのかけ合いも楽しかったです。
- ☆継続してダンスを続けてきた子どもたちにとっては慣れていたこともあり、他の出演者の演目を楽しむ余裕も大分出てきたように思います。初めての参加者もあたたかい雰囲気作りのお蔭で楽しむことが出来て、楽しい思い出となったようです。また、今年はハンドベルやバンドなどの完成度が高くてびっくりしました。あの規模の大ききの会場で子どもたちが舞台上げられることが何よりです。
- ☆とても楽しかったです。今回は参加せずに見学だけでしたが、ぜひ、来年は参加ができればいいなと思いました。子どもたちからも、前向きに来年度を考えていこうという話になり、今後が楽しみです。



● 第3回 農村ホームステイ体験の旅

主催



山々に囲まれた遠野を散策

今年度も児童養護施設で生活する小学校高学年と中学生を対象に、積極性・社会性・協調性などを養い、視野を広げる一助として「農村ホームステイ体験の旅」を実施しました。農村でいろいろな体験をしたいと応募してきた児童の中から、小学校6年生2人、中学生8人の10人を書類・作文審査で選考、岩手県遠野市で農業を営む10軒の農家(ホストファミリー)でホームステイをしながら、野菜作りや収穫、牛の飼育など農業を実際に体験してもらいました。



カッパ淵でカッパ釣りに挑戦

初めての農村ホームステイ体験

参加児童10人は皆初対面、ほとんどの子どもが緊張しながらの東北新幹線の旅立ちとなりました。新花巻駅からは観光バスで遠野市へ、昔の豪農の家「曲り家」やカッパ伝説のカッパ淵などを巡った後、早速お世話になるホストファミリー10軒の皆さんと対面しました。バスの中では元気におしゃべりしていた児童たちも、緊張した面持ちでそれぞれのホストファミリーの家に向かっていきました。2日目、3日目ともお天気に恵まれて、朝早くから農作業をして収穫した野菜の仕分けと袋詰め作業をしたり、合鴨を害獣から守るためのネットの水草をゴルフクラブでたたいて落とすなどのちょっと変わったお手伝いもしました。釣りに連れて行ってもらった児童は、「将来は漁師になる!」と意気込み、獣医の仕事を手伝った児童は「牛のお産に立ち会った」と目を輝かせるなどみんな様々な体験に感動していました。

4日目は東日本大震災の被災地、大槌町を訪ねました。仮設住宅の集会所で、被災された方が震災時の模様を紙芝居にして、当時の

実体験を直接語るのを聞いて、それぞれにいろいろな思いを抱いたようでした。夕方遠野に戻り、さよならパーティーを行いました。児童たち一人ずつがファミリーへのお礼などを綴った「感謝の手紙」を壇上で発表、泣き出してしまう児童もいて、遠野のホストファミリーの皆さんの温かい気持ちに包まれた最後の夜となりました。



昔の豪農「南部曲り家千葉家」の前で

農村ホームステイ体験の旅を終えて

帰京後に、各施設から「遠野から戻ってから楽しそうに遠野での体験を他の児童や職員などに話している」という話を聞き、気遣いや気苦労もある中、最後まで児童たちを温かく見守り、たくさんの貴重な経験をさせてくださったホストファミリーの皆さんに改めて感謝するとともに、



被災地の集会所で被災者のお話を聞く児童たち



被災地で農作業のボランティアに参加

児童たちが将来どこかで「農村ホームステイ体験の旅」で頑張ったことを思い出し、役だててくれることを願っています。



トマトの収穫をお手伝い

参加児童の感想文(抜粋)

☆中3男子

農村体験でお世話になった方々や関わった方がとても優しかったことが印象に残りました。僕は農業を学び、苦労を知り、人との関わりを大切に、命を学び、そして別れを感じ、楽しい思い出と体験をしました。そして寂しさも感じました。この経験を生かして、これからも生活していきたいです。

☆中3男子

ホストファミリーと過ごした日々が一生の思い出です。また、三日目の牛の出産はかなりのインパクトがあり、帰ってからも夢に出てきます。地元農家の方にいろいろと教えていただけたので、とても勉強になりました。全体を通しては良い体験に恵まれ、良いホストファミリーに恵まれ、もう最っ高!!って感じでした。遠野に行けて本当に良かったです。

☆中2男子

朝4時半に起きてトウモロコシの収穫、選別、出荷の手順が予想以上で大変でつらかったです。白菜とキャベツの種まきは75個部屋があるポッドで二粒ずつ種を入れていった作業は大変だったからこそやりがいがあった仕事でした。子牛にミルクをあげることをやらせてもらいました。すべてが貴重な経験でした。

☆中2男子

自分から皆に話かけるのが、苦手で最初は不安ばかりで大丈夫かな?と思っていたのですが、新幹線の中で他の施設の子が気軽に話しかけてくれて、とても会話がはずみました。被災地訪問では命の大切さを知ったのと、心のキズはすぐには治らないという事を学びました。この4泊5日で僕はいろいろなことを学び様々な人にお世話になりました。ありがとうございます。2015の夏に忘れられない思い出ができました。

☆中1男子

僕は遠野で暮らした日々はすごく短く感じました。4泊5日でもいいだった、東京に帰りたかったという事はいっさいありません。毎日をホストファミリーさんが自分の家族みたいに関わってくれてなによりうれしかったです。ホストファミリーさんが教えてくれるときは真剣に教えてくれて自分で学ぶことができました。ホストファミリーさんから教わったことをこれからの生活のさんこうにしていきたいです。

日程：平成27年8月19日(水)～23日(日) 4泊5日

場所：岩手県遠野市

参加者：小学校高学年2人、中学生8人(男子5人、女子5人)
東京・埼玉の児童養護施設

主催：テレビ朝日福祉文化事業団

共催：(福)東京都社会福祉協議会児童部会

後援：(公財)原田積善会

☆中3女子

私はホップ収穫祭のお手伝いに行ったりしてパドロン収穫の長い作業もあってとても疲れましたが、それはなぜか苦ではありませんでした。私は「遠野はとても良いところだったよ。おもしろい場所もあったよ」と、たくさんの事をたくさんの人に話しました。農家が減ってきている日本のために働こうとおもえるように、色んなひとにその楽しさを伝えたいです。

☆中3女子

遠野にきて初めて知ったのは、ホストファミリーさんの畑は有機栽培、有機農法ということです。私は植物、ましてや食べ物には薬をまかなきゃ汚いというイメージだったので、「衛生的に大丈夫なのか?」と困惑しました。だけどそれがかえって体に悪いと教えて下さいました。農村ホームステイで他の施設の子たちとも仲良くなれたり、農業のこと、遠野の文化を学べてすごく良い経験になりました。

☆中1女子

遠野にきてとても寒いなぁと思いました。東京と比べて山がとても近くてきれいで空気がとても良くて大自然だと思いました。将来のために勉強になったことは、牛をさわって、生き物のあたたかさや心がいやされることを再かくにんすることが出来ました。今回の農業体験にさんかさせていただき、将来動物かんけいの仕事につきたいと思いました。

☆小6女子

4日目は、おおつち町にいき、しん災のことを学びました。地しんのときは、とても大変だったんだなぁと思いました。かみしばいで説明をもらい、とてもわかりやすくて今でも見つからない人などたくさんの人が大変な思いをしていると思いました。その夜に、さよならパーティーをしました。おいしいものをたくさん食べたり、ホストファミリーのみなさんに手紙を読めてよかったです。

☆小6女子

私が、印象に残ったのはホームステイ先の人たちが予想以上に優しくったことです。ものすごくあたたかい家だなと感じたことはもちろん、もう少しいたいなと思いました。そして、遠野では東京では見られない星のキレイさがあるというのも印象的でした。ホームステイ先の人たちと仲良くなり、同じ家族のように接してくれ、色々なことをさせてくれたのが私の中で、最も楽しかったことです。

江戸っ子杯争奪

●東京都児童福祉施設競技大会 2015 野球の部

共催 助成

三鷹市大沢総合グラウンドで11チーム約260人が参加して「江戸っ子杯争奪東京都児童福祉施設競技大会2015 野球の部」が開催されました。審判員は今年度も三鷹市軟式野球連盟の皆さんに全面協力して頂きました。開会式では、元プロ野球選手で野球解説者の小宮山悟氏をお招きして始球式を行い、その後は、小宮山さんを囲んで各チームごとに記念撮影を行いました。

大会1日目は夏本番の暑さの中、1・2回戦7試合が2面の野球グラウンドを使って行われました。2日目は10時から準決勝2試合は行われたものの、決勝戦・3位決定戦が、突然の雷雨で一時中断し順延再試合となりました。翌日行われた「至誠学園」対「調布学園」の決勝戦では、連日の暑さにも負けずに頑張る選手たち



小宮山悟氏を迎える開会式

に大きな声援が送られました。「至誠学園」が常にリードする中、初優勝を狙う「調布学園」は最終回、1点差まで追いつきましたが、最後は「至誠学園」の守備が勝り、7対6で「調布学園」に辛勝、見事に優勝を飾りました。3位決定戦は、「ベトレヘム学園」と「精舎児童学園」で争われ、「ベトレヘム学園」が15対3で勝利しました。

閉会式では、テレビ朝日福祉文化事業団から優勝～4位までの各チームにトロフィーの他、副賞としてバット、グローブセット、参加者全員にスポーツタオルを贈呈し、熱中症や事故などなく3日間にわたる大会が無事閉幕しました。



優勝した至誠学園



猛暑の中熱戦を繰り広げる児童たち

●児童福祉施設職員のためのワークショップ

共催 助成

子どもの気持ちに寄り添い、関心を持って耳を傾け共感することで子どもの行動の背景にある感情を理解し、問題行動に対応する方法を学ぶ1泊2日の児童福祉施設職員のためのワークショップが開催されました。

児童福祉分野に従事するスタッフは、より高度で専門的なトレーニングが求められています。今年度も、1980年代から児童虐待、ネグレクトの問題に取組み、また日米の子どもと家族の治療に関わってこられた心理学博士の田中万里子先生（サンフランシスコ州立大学名誉教授）を講師にお迎えしました。実践的な理解を深めるため、事前に施設職員から提出してもらった課題についてオープンに話し合い、現在起こっている事

象についての理論的な裏付けを学んだ後、その知識を現場でどのように活かしていくかについてケースごとのディスカッションとコンサルテーションを行いました。

日程：平成27年10月20日(火)～21日(水)

場所：パレスホテル立川(東京都立川市)

主催：(福)至誠学園立川 児童養護施設至誠学園

共催：テレビ朝日福祉文化事業団

●第60回 全国里親大会 かがしま大会

共催 助成

里親養育についての学びを通して、里親制度を、社会的養護関係者だけでなく広く一般に知らせると共に里親への理解を深め、里親のすそ野を広げることを目的として開催されました。1日目の式典後は様々な分科会、子どもたちの民謡やダンスなどの華やかな交流会、翌日はバーバラ植村さんの記念講演、全体会が行われ、600人の里親及び関係者が参加して盛会のうちに幕を閉じました。

日程：平成27年10月24日(土)～25日(日)

場所：霧島ロイヤルホテル(鹿児島県霧島市)

厚生労働省・鹿児島県・(公財)全国里親会
鹿児島県里親会・(福)NHK厚生文化事業団
(公財)資生堂社会福祉事業団・テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●第61回 関東甲信越静里親研究協議会 長野大会

後援 助成

日程：平成27年7月11日(土)

場所：若里市民文化ホール(長野県長野市)

主催：(公財)全国里親会、関東甲信越静里親研究協議会、長野県里親会連合会

共催：長野県

後援：長野市、(福)長野市社会福祉協議会、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●第57回 慈彩会展

後援 助成

慈彩会は自然を愛し美を愛する各界の有志で、日ごろから絵画・書・工芸などに親しむ方々が集い、“社会福祉施設に絵を贈る運動”として昭和33年に発足しました。毎年1回日本橋三越本店で展覧会を行っており、今年度も「第57回慈彩会展」として開催されました。出品作品はすべて作者から無償で提供され、社会福祉施設に寄贈されています。また希望者への販売も行われ、収益金は助成金として社会福祉活動に役立てられます。

この展覧会には、毎回、常陸宮妃殿下からも御出品いただいております。また趣旨に賛同した専門家も多く参加しています。今回も常陸宮妃殿下の「新年歌会始の詠進お歌」(書)の特別御出品をはじめ、洋画・水彩画・日本画・書・工芸・写真と多岐にわたる素晴らしい作品総計162点が展示されました。

これまでに全国の社会福祉施設に贈呈された作品は累計で5201点、延べ3615施設、助成金は8170万7千円となりました。



絵画が並ぶ慈彩会展会場

日程：平成27年7月15日(水)～20日(月)

場所：日本橋三越本店(東京都中央区)

主催：慈彩会

運営事務局：(一社)日本民生文化協会

後援：厚生労働省・東京都・テレビ朝日福祉文化事業団
(公財)原田積善会

こどもの国お正月行事 ●ジャンボカルタとり大会、どんど焼き

後援 助成

毎年恒例となっているこどもの国でのお正月行事、「ジャンボカルタとり大会」と「どんど焼き」が開催されました。天候に恵まれ、中央広場でジャンボカルタとり大会とジャンボ百人一首大会が行われ、札をとった人には景品のお菓子がプレゼントされました。また、成人の日には新しくなった中央広場でこどもの国開園以来約50年続いている伝統的な正月行事の一つ「どん



新春の青空に燃え上がるどんど焼き

ど焼き」が行われました。持ち寄った松飾り・書初め・願い事が書かれた短冊を付けた笹の木などを燃やし、厄払いや無病息災、諸願成就を願います。園内で育った竹を使って組まれた櫓に年女・年男たちが点火するとどんど焼きの炎は晴天の青空へ勢いよく舞い上がり瞬く

間に燃え終わりました。大きなドラム缶で蒸し焼きにされた熱々の焼き芋400個が配られ、子どもたちはどんど焼きの残り火に当たりながら美味しく頬張っていました。



ジャンボかるたの前でポーズ

ジャンボカルタとり大会

日 程：平成28年1月2日(土)～3日(日)

どんど焼き

日 程：平成28年1月11日(月・祝)

場 所：こどもの国(神奈川県横浜市)

主 催：(福)こどもの国協会

後 援：テレビ朝日福祉文化事業団

●「憩いの家」資金バザー

後援

日 程：平成27年12月19日(土)～24日(木)

場 所：日本橋高島屋(東京都中央区)

主 催：(福)青少年と共に歩む会

後 援：テレビ朝日福祉文化事業団

●日本児童養護実践学会 第8回研究大会

後援

日 程：平成28年2月28日(日)

場 所：大坂成蹊短期大学(大阪府大阪市)

主 催：(一社)日本児童養護実践学会

後 援：テレビ朝日福祉文化事業団

母子福祉

●母子のための テレビ朝日見学体験ツアー

主催



テレビ朝日屋上から東京タワーを望む

平成26年度から取り組んだ母子福祉事業・母子生活支援施設のお母さんと子どもを対象にした「母子のためのテレビ朝日見学体験ツアー」を今年度も実施しました。この企画は、住所を公表しない母子生活支援施設で暮らす親子をテレビ朝日に招待し、外出して気分転換を図ってもらうこと、他の施設で暮らす母子や引率職員との交流、テレビ局を身近に感じて楽しい一日を過ごしてもらうことを目的にしています。

今年度も応募者多数のため上期、下期で4ツアーを行い、17組の母子と引率の支援員合わせて53人にご参加いただきました。

スタジオ見学や記念写真 特別コースでご案内

「母子のためのテレビ朝日見学体験ツアー」は特別な見学コースで開催しています。基本コースは、「サンデー！スクランブル」(平成28年3月27日 放送終了) 生放送中スタジオ見学→「ANNニュース」放送中報道スタジオ見学(ガラス越し)→社内食堂での昼食→「サンデー！スクランブル」出演アナウンサーとのQ&A→美術セットの模型や小道具見学→「報道ステーションSUNDAY」のセット見学→屋上テラスからの眺望とテレ朝稲荷→本社1階アトリウム自由観覧→EXタワー・クラウドカフェ(晴天時のみ)と盛り沢山。

今年度もお母さんと3歳以上のお子さんをご招待。カラフルな服装のかわいらしいちびっ子がたくさん来社し、小学生の男子が他の施設の女兒をあやす、心和むシーンも見られました。

生番組見学や「ANNニュース」報道スタジオ見学では子どもたちも緊張していますが、お昼ご飯を挟んで行うアナウンサーとのQ&Aと写真撮影は皆リラックスして毎回大好評。下平アナウンサー、平石アナウンサー、草薺アナウンサーが色々な質問に丁寧に応えてくれ、放送終了後のスタジオは、笑

顔と活気があふれます。ある回では「誰が画面を切り替えているのですか？」との問いに「いい質問ですね。



「サンデー！スクランブル」放送後のサブ(副調整室)

じゃあ、この後見に行こうか？」と下平アナウンサーが優しく答えてくれ、番組プロデューサーが特別にサブ(副調整室)に案内してくれました。丁寧に画像を見せながら番組スタッフが説明してくれ、全員、特別サービスに大喜び!!生番組を送出するスタッフの臨機応変な対応はさすがだなとその親切に感動しました。美術の小道具や「報道ステーションSUNDAY」の木を使ったセットの見学も人気を集めました。EXタワーのクラウドカフェで素晴らしい眺望を楽しみながらのティータイムは、この見学ツアーの晴れた日ならではのお楽しみ。ツアーを振り返りながらゆっくりとした時間を過ごします。

2年目のツアーを終えて

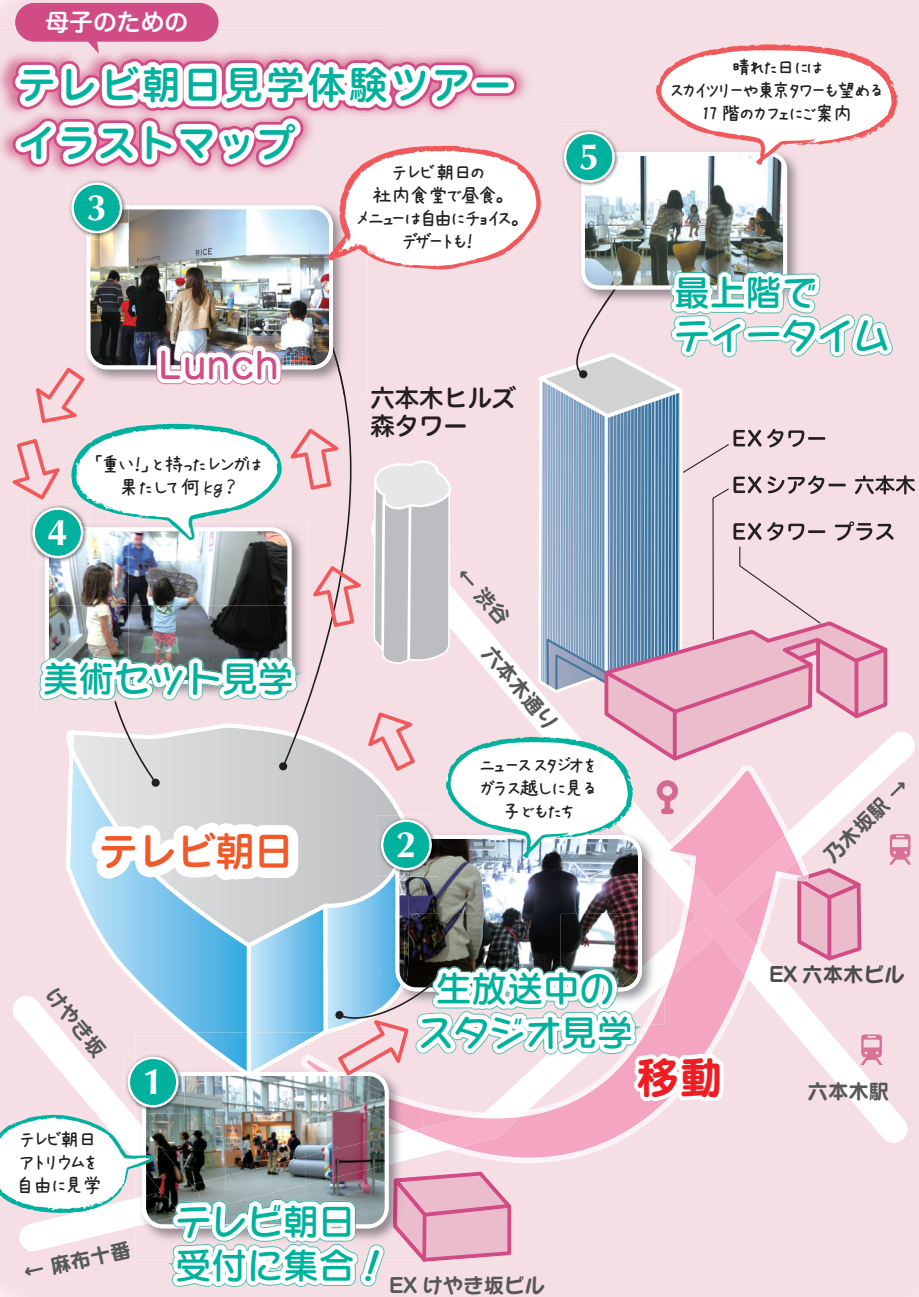
今年度の母子福祉企画の「母子のためのテレビ朝日見学体験ツアー」は、上期2回、下期2回計4回実施し、

「サンデー！スクランブル」出演アナウンサーとのQ&Aが大好評
(左から)下平さやかアナウンサー、平石直之アナウンサー、草薺和輝アナウンサー

希望者のほぼ全員をお招きすることができました。家事の軽減や気分転換が図れるよう昼食付にしているため、社内食堂での食べ放題に目を輝かせる子どもたちや、食事時に参加者同士が仲良しになる場面もみられます。参加者からは、「母子生活支援施設で暮らす親子は、子ども中心の生活で遊び場も公園くらい。仕事と家の往復になりがちなので、今回のご招待が束の間の楽しいひと時だった」という声もいただきました。他者とのふれあいも励みになると聞き、私たちも嬉しい限りです。実施にあたっては、テレビ朝日各部署の多大なご協力と関東ブロック母子生活支援施設協議会のご支援を賜りましたことに感謝しつつ、今後も参加

者の声を参考にしながら期待に応えられる企画にしていきたいと思っています。

日程：	平成27年5月31日(日)、6月7日(日)、 11月8日(日)、11月15日(日)
場所：	テレビ朝日
参加者：	母子17組53人 未就学児童11人、小学生11人、中学生2人、高校生1人ほか 東京、千葉、埼玉、神奈川 のべ14施設
主催：	テレビ朝日福祉文化事業団
後援：	関東ブロック母子生活支援施設協議会



参加者からの感想文(抜粋)

☆Tさん、4歳女子

ミュージックステーションの司会をしていた下平さやかアナウンサーに生で会えて、とても感動しました。

☆小4女子

いつもは、体験出来ないことが出来て楽しかったです。特に、スタジオの本物を、みれたこと、小道具の置く位置がとても細かく印が付けられていてすごかったです。

☆市川市母子生活支援施設長

いつも仕事で、休日は家族で出かけてもなかなか都会にまで行くことが出来ないお母さんは、とても喜んでいました。

☆墨田区Tさん、4歳女子

お土産のゴーちゃんグッズを気に入り、毎日使っているリュックに付けています。

☆墨田区母子生活支援施設職員

初めての体験ばかりでとても楽しい時間が過ごせました。内容がどの年齢のお子さんにも興味を持ってそうなので、いつも見ているテレビの世界を実際に見られるのは、夢のような体験ではないかなと思います。

☆墨田区Kさん、小4男子

テレビ朝日の見学はとても興味深いものでした。1日を通して案内くださった皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。また、警備員さんは、階段で先回りしつつ案内して下さいました。子ども達の相手をして頂き、ありがとうございました。大喜びでコープンしていた息子でしたが、貴重な体験ができました。

☆戸田市Gさん、4歳男子

アナウンサーの方々とお話しする事も出来て、ドキドキでした。見学してから、息子のテレビを見る目が変わっている事に気づきました。「カメラの後ろには人がいるんだ！」等テレビを見るたびに言っています。おかげで、子供との会話も少し増えた様な気がします。

☆戸田市Mさん、4歳男子

ティータイムのEXタワーでは、風景の大きさとゆったりした時間で一日をふり返り、参加できてよかったと思えました。母子の家庭には、ゆったりと過ごす時間もない中で

貴重な体験ができました。「ゴーちゃん。」のTシャツをきて私も頑張ります。

☆戸田市母子生活支援施設職員

母子は普段、子供達中心の生活を送っており、遊び場も公園だったりと大人が楽しめる場所にはなかなか行けないのが現状です。仕事と家の往復だけの毎日になりがちです。今回のご招待が束の間の楽しいひと時であったと感じています。

☆Yさん、3歳男子

今回テレビ朝日さんに行けたことは、とても貴重な体験でした。子どもにも、幼いながらもこんな仕事があるんだと見ることが出来たので、大きな社会勉強になったと思います。

☆S寮母子生活支援施設職員

子どもに色々な経験・体験をさせてあげようと思っておられるお母さん達に、本当に喜ばれておりました。参加者が楽しめるようたくさんの工夫をして下さっているのが伝わり、母子世帯をたくさんの方が気にかけて、支えて下さっていると感じることができ、とても嬉しく思いました。お母さんにとっても、リフレッシュの機会として最高だったのではと思います。

☆Tさん、3歳女子

見学ツアーに参加させていただき、ありがとうございました。なかなか体験できないことをさせていただき、貴重な時間を過ごすことができました。

☆Hさん、5歳男子

初めてTV局の見学をさせて頂きました。生放送の緊張感、原稿読みのリズム感などテレビを見ていては分からないことを見れて楽しかったです。

☆Yさん、4歳女子

見学とても楽しかったです。娘にも良い経験になったと思います。

☆Iさん、5歳女子、10歳男子

楽しい思い出になりました。おみやげもいっぱいうれしかったです。ごはんもたのしかったです。



障がい者福祉

●第38回 車椅子バスケットボール秋季大会

共催 助成



コートいっぱいに熱戦を繰り広げる選手たち

神奈川県平塚市の馬入ふれあい公園ひらつかアリーナで車椅子バスケットボール秋季大会が開催されました。テレビ朝日福祉文化事業団は第1回からこの大会を主催しています。

当日は、早朝から清々しい秋晴れとなり、日本車椅子バスケットボール連盟登録チームの中で東北、関東、東京、甲信越、東海北陸ブロックの12チーム約110人がA・Bの2ブロックに分かれ、男女混合で熱戦を繰り広げました。車椅子バスケットボールは、一般のバスケットボールのルールとほぼ同じで、コートの広さ、リングの



華麗なパスワーク

高さも変わらないため、選手にとっては、プレーひとつひとつに相当な体力が必要です。車椅子に乗った選手た

ちが、激しくボールを奪い合う姿は、普段接しているバスケットボールとは一味違った魅力に溢れていました。結果は、Aブロックは川崎WSCが、BブロックではK9長野が優勝し、来たるべき東京パラリンピック開催に向けた選手育成への決意も新たに大会は終了しました。

日 程：平成27年9月13日(日)

場 所：ひらつかサン・ライフアリーナ(神奈川県平塚市)

主 催：(一社)日本車椅子バスケットボール連盟

共 催：テレビ朝日福祉文化事業団

後 援：平塚市・平塚市教育委員会

協 力：平塚バスケットボール協会

●第39回 ハンディスキー全国親善大会

共催 助成

第39回ハンディスキー全国親善大会が、新潟県糸魚川市・糸魚川シーサイドバレースキー場で開催されました。この大会はスピードやタイムを競うだけでなく、全国の仲間が共にスキーを通じて競い合い楽しみあう中で、肉体的・精神的に障がいを克服する意欲を養い生活の向上を目的とするもので、テレビ朝日福祉文化事業団は第1回から主催しています。

競技当日は前夜からみぞれ交じりだった雪も早朝には止んで、滑りやすいコンディションとなりました。雄大な山々に囲まれたゲレンデに赤と青の旗門がセットされた全長約730m、最大斜度20°のコースを、次々と選手がスタート。勝敗はタイムの速い遅いではなく、同じコースを2回滑り、2回のタイム差が一番少ない選手が優勝となるため、自分のリズムを守って2本滑りきることが重要となります。立位・チェアスキー・ブラインドスキー



アウトリガーを使用して雄大な斜面を滑り降りる

など、それぞれの状況に応じて用具や滑り方を工夫して思いきり風を切って旗門を通過、ハンディをものともせずチャレンジする姿は、競技役員を務めたスキー場の関係者や一般参加者にも勇気と感動を与えてくれました。

試合結果

上級優勝	笠井 勝也(新潟県)	タイム差 0秒09
中級優勝	山本 修(富山県)	タイム差 0秒46
初級優勝	池本 晃義(岡山県)	タイム差 5秒99

日 程：平成28年1月29日(金)～30日(土)

場 所：糸魚川シーサイドバレースキー場(新潟県糸魚川市)

主 催：(公財)日本身体障害者スキー協会

共 催：テレビ朝日福祉文化事業団

新潟県・新潟県教育委員会・糸魚川市・新潟県
スキー連盟・(福)新潟県身体障害者団体連合会
新潟県障害者スポーツ協会 ほか

協 力：糸魚川シーサイドバレースキー場・ホテル國富

●障がい者施設などに対する設備助成

助成

テレビ朝日福祉文化事業団では平成5年度から、公的資金援助では充分とはいえない障がい者の皆さんが働く地域活動支援センター(小規模作業所)に対し、わずかでも環境改善や効率アップに繋がることを願って、施設の運営に必要な器具等、1事業施設に対して30万円以内の物品をおくる設備助成を行っており、今年度で23年目になります。今年度は4月～6月に加え、12月～2月にも募集を実施、22件の応募があり、審査の結果12件の作業所に対して設備助成を行いました。今年度設備助成を実施した施設は以下の通りです。



助成したパソコンで作業をする利用者

1	ルームエアコン	鮎の風	神奈川県厚木市
2	ラジカセ、アイロン、カッター、空気清浄器、掃除機 ほか	スローライフ	神奈川県鎌倉市
3	冷蔵庫、電子コンベック	ひまわりの家	神奈川県真鶴市
4	電動シーラー	貴有意の郷	神奈川県伊勢原市
5	ルームエアコン	けやきの会	神奈川県相模原市
6	椅子25脚	厚木ひまわりの会	神奈川県厚木市
7	パソコン	ふれあいの家	神奈川県横浜市
8	キャスターテーブル4台、椅子28脚	風のバード	神奈川県横浜市
9	ルームエアコン2台	のぞみ	千葉県野田市
10	折りたたみデスク、テープカッター2台	コレカラ堂	東京都足立区
11	ノートパソコン	ワークみらい	東京都杉並区
12	洗濯機2台	どんぐりパン	東京都多摩市



ルームエアコン



カッター



空気清浄器



電子コンベック



冷蔵庫



椅子



電動シーラー



ノートパソコン



電動テープカッター

内閣総理大臣杯争奪

●第43回 日本車椅子バスケットボール選手権大会

後援 助成

日 程 : 平成27年5月4日(月・祝)～6日(水・祝)
 場 所 : 東京体育館(東京都渋谷区)
 主 催 : (公財)日本バスケットボール協会、(公財)日本障がい者スポーツ協会
 (一社)日本車椅子バスケットボール連盟
 後 援 : 文部科学省、厚生労働省、東京都、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●第9回 全東京ろう社会人軟式野球TDリーグ戦

後援 助成

日 程 : 平成27年5月10日(日)～8月30日(日) 全5回
 場 所 : 新荒川大橋野球場(東京都北区) ほか
 主 催 : 全東京ろう社会人軟式野球連盟
 後 援 : 東京都、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか



●第31回 DPI (障害者インターナショナル)日本会議全国集会 in 福島

後援 助成

日 程 : 平成27年5月30日(土)～31日(日)
 場 所 : ビッグパレットふくしま(福島県郡山市)
 主 催 : (特)DPI日本会議、第31回DPI日本会議全国集会 in 福島実行委員会
 後 援 : 内閣府、外務省、厚生労働省、国土交通省、文部科学省、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●第63回 全国盲人福祉施設大会

後援

日 程 : 平成27年6月25日(木)～26日(金)
 場 所 : ザ・セレクトン福島(福島県福島市)
 主 催 : (福)日本盲人社会福祉施設協議会
 後 援 : 厚生労働省、福島県、福島市、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●むさしの会サマーキャンプ

助成

日 程 : 平成27年7月31日(金)～8月2日(日) 2泊3日
 場 所 : 国民宿舎サンライズ九十九里(千葉県山武郡)
 主 催 : むさしの会

●チャレンジキャンプ

後援 助成

日 程 : 平成27年8月7日(金)～10日(月)
 場 所 : HCG(ヒゲッチャンプグラウンド)(埼玉県児玉郡)
 主 催 : さいたま市児童養護施設カルテット
 後 援 : テレビ朝日福祉文化事業団

●第38回 わらじの会 夏合宿

助成

日 程 : 平成27年8月21日(金)～23日(日)
 場 所 : ホテル三王閣(長野県諏訪郡)
 主 催 : わらじの会

●第32回 全国高校生の手話によるスピーチコンテスト

後援

日 程 : 平成27年8月29日(土)
 場 所 : 有楽町朝日ホール(東京都千代田区)
 主 催 : (一財)全日本ろうあ連盟、(福)朝日新聞厚生文化事業団、
 朝日新聞社
 後 援 : 厚生労働省、文部科学省、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか



●日本車椅子バスケットボール連盟 第12回 ジュニア選手育成講習会

後援 助成

日 程 : 平成27年9月19日(土)～9月22日(火・祝)
 場 所 : 国立乗鞍青少年交流の家(岐阜県高山市)
 主 催 : (一社)日本車椅子バスケットボール連盟 強化指導部
 後 援 : テレビ朝日福祉文化事業団

●第19回 電動車椅子サッカー関東大会

後援 助成

日 程 : 平成27年9月22日(火・祝)～23日(水・祝)
 場 所 : 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール(神奈川県横浜市)
 主 催 : 関東ブロック電動車椅子サッカー協会
 後 援 : 日本電動車椅子サッカー協会、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか



●第40回記念 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会

後援 助成

日 程 : 平成27年10月9日(金)～11日(日)
 場 所 : 久留米市営球場(福岡県久留米市) ほか
 主 催 : 全日本ろう社会人軟式野球連盟
 後 援 : 福岡県、久留米市、小郡市、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●第30回記念 全日本視覚障害者柔道大会

後援 助成

日 程：平成27年11月22日(日)
場 所：講道館(東京都文京区)
主 催：(特)日本視覚障害者柔道連盟
後 援：文部科学省、厚生労働省、東京都、全国盲学校長会
テレビ朝日福祉文化事業団 ほか



●第53回「弘済学園 わたしたちが創る展」

後援

日 程：平成27年12月7日(月)～9日(水)
場 所：JR東京駅丸の内地下南 動輪の広場(東京都千代田区)
主 催：(公財)鉄道弘済会、(福)東京都社会福祉協議会
後 援：テレビ朝日福祉文化事業団 ほか
特別協力：(株)石原プロモーション



●わんぱくクラブ育成会「渡辺真知子コンサート」

後援

日 程：平成28年1月24日(日)
場 所：世田谷区民会館(東京都世田谷区)
主 催：(特)わんぱくクラブ育成会
後 援：世田谷区、世田谷区教育委員会、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

●第7回 はーとふるメッセ実りの集い ～はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー2015～

後援 助成

日 程：平成28年2月27日(土)
場 所：イオンモール幕張新都心(千葉県千葉市)
主 催：千葉県、千葉県障害者就労事業振興センター
後 援：千葉ロッテマリーンズ、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか



厚生労働大臣杯争奪

●第45回 全国身体障害者スキー大会

後援 助成

日 程：平成28年3月10日(木)～12日(土)
場 所：安比高原スキー場(岩手県八幡平市)
主 催：(公財)日本障がい者スポーツ協会、(公財)日本身体障害者スキー協会、(特)日本障害者スキー連盟
後 援：厚生労働省、スポーツ庁、(公財)全日本スキー連盟、テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

高齢者福祉

●高齢者施設訪問

主催



こまどり姉妹

特別養護老人ホームやデイサービスセンターなどの高齢者施設をプロの歌手が訪問し、高齢者の皆さんに楽しい時間を過ごしていただくというのがこの高齢者施設訪問です。

昭和62年に施設訪問が始まってから、合計191回を

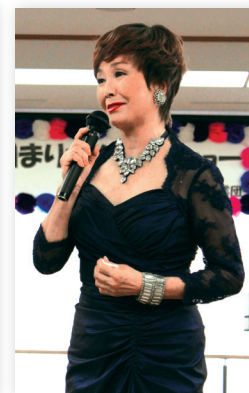
数えました。今年度は15の施設を訪問、どの施設の皆さんも一緒に手拍子をしながら、ともに口ずさんだり身体全体で喜びを表わしてくれます。民謡から歌謡曲まで、若かりし頃を懐かしみながら、笑顔あり、涙ありの楽しい施設訪問となりました。



大津美子



原田直之



園まり



大島花子



佳山明生

① 日 程：平成27年4月27日(月)
場 所：練馬高松園(東京都練馬区)
ゲスト：大津美子(歌手)

② 日 程：平成27年5月26日(火)
場 所：あやめの苑・代々木(東京都渋谷区)
ゲスト：原田直之(民謡歌手)

③ 日 程：平成27年6月29日(月)
場 所：いずみえん(東京都大田区)
ゲスト：大島花子(歌手)

④ 日 程：平成27年7月28日(火)
場 所：清徳苑(東京都目黒区)
ゲスト：こまどり姉妹(歌手)

⑤ 日 程：平成27年9月11日(金)
場 所：広尾グリーンハウス(東京都渋谷区)
ゲスト：大津美子(歌手)

⑥ 日 程：平成27年9月28日(月)
場 所：白金の森(東京都港区)
ゲスト：園まり(歌手)

⑦ 日 程：平成27年10月14日(水)
場 所：聖母ホーム(東京都新宿区)
ゲスト：こまどり姉妹(歌手)

⑧ 日 程：平成27年10月28日(水)
場 所：神楽坂(東京都新宿区)
ゲスト：こまどり姉妹(歌手)

⑨ 日 程：平成27年11月9日(月)
場 所：東京弘済苑(東京都三鷹市)
ゲスト：大津美子(歌手)

⑩ 日 程：平成27年11月20日(金)
場 所：麻布慶福苑(東京都港区)
ゲスト：佳山明生(歌手)

⑪ 日 程：平成27年12月11日(金)
場 所：親の家(東京都武蔵野市)
ゲスト：原田直之(民謡歌手)

⑫ 日 程：平成28年1月28日(木)
場 所：ちょうふ花園(東京都調布市)
ゲスト：大津美子(歌手)

⑬ 日 程：平成28年2月18日(木)
場 所：桜ヶ丘延寿ホーム(東京都多摩市)
ゲスト：園まり(歌手)

⑭ 日 程：平成28年3月3日(木)
場 所：まちだ正吉苑(東京都町田市)
ゲスト：こまどり姉妹(歌手)

⑮ 日 程：平成28年3月10日(木)
場 所：万寿園(東京都東村山市)
ゲスト：大島花子(歌手)

●けやき坂カルチャー教室

共催

平成13年11月よりシニア世代を対象にしたパソコン教室として始まったこの事業は、平成17年4月から六本木ヒルズのけやき坂に面したテレビ朝日イベントスペースumuに場所を移し、これを機に「けやき坂カルチャー教室」として月に1回のペースで開催され、『様々な分野の講師から学び、生徒同士が交流する場所』として多くの皆様にご参加いただきました。開始当初の書道、レースドール、プリザーブドフラワー、アートクレイシルバーの4講座に、その後チャイナペイント、デコラティブアレンジメント、カルトナージュの3講座が加わり7講座で生徒数約50人となりましたが、テレビ朝日イベントスペースumuが今年度2月末で営業終

了になったため、「けやき坂カルチャー教室」も終了することになりました。

最後に、この教室に参加する35人の生徒さんの作品と先生の作品あわせて88点を発表する作品展を開催しました。

長年にわたってご参加いただいた講師の皆様、生徒の皆様に深く感謝申し上げます。



書道の大岡蘭仙先生に書いていただいた入場口パネル



作品展会で熱心に作品を見て回る来場者

●第7回 国際シニア合唱祭「ゴールデンウェーブ in 横浜」

特別後援 助成

ゴールデンエイジの仲間たちの輪を合唱という大きな響きにして横浜から発信しようと平成20年横浜開港150年記念事業の一環として始まった国際シニア合唱祭「ゴールデンウェーブ in 横浜」が、横浜みなとみらいホールで開催されました。

今年度は、海外からの3グループを含めた92グループ、3069人が参加、昨年を上回る大盛況でシニアの歌声が力強く響き渡りました。

この合唱祭は年を追うごとに参加者数が増え、北は北海道函館市、南は沖縄県那覇市からと年々参加地域も広がり、健康で生きがいのある“生涯現役”を目指すシニアの合唱祭として根付いています。90歳以上の方が31人、その中には最高齢者94歳の方も5人おられ、元気に合唱祭を楽しんでいました。



横浜みなとみらいホールに国内外から92グループ3069人が参加

日 程 : 平成27年4月13日(月)～15日(水)

場 所 : 横浜みなとみらいホール(神奈川県横浜市)

主 催 : 横浜みなとみらいホール
ゴールデンウェーブ実行委員会

後 援 : 神奈川県・横浜市ほか

特別後援 : (福)朝日新聞厚生文化事業団
テレビ朝日福祉文化事業団

その他の福祉事業・団体への支援

●プロ野球ヤクルト戦入場券プレゼント

助成

神宮球場で行われるプロ野球ヤクルト戦のBOX席の入場券を、(福)東京都社会福祉協議会 東京善意銀行を通じて毎年プレゼントしています。今年度は、精神障害者地域生活支援センターや通所作業所、就労移行支援センター、知的障害者入所更正施設など、東京都内の障がい者施設などの92施設に、232枚をプレゼントしました。

●第64回 東京都社会福祉大会

協賛

日 程 : 平成27年12月18日(金)

場 所 : 東京都庁第一本庁舎 5階 大会議場(東京都新宿区)

主 催 : 東京都、(福)東京都社会福祉協議会、(福)東京都共同募金会

協 賛 : テレビ朝日福祉文化事業団 ほか

<テレビ朝日ドラえもん募金報告>

●ネパール大地震被災者支援

テレビ朝日では、4月25日にネパール連邦民主共和国で発生したマグニチュード7.8の大地震による被災者を支援するために「ドラえもん募金」を実施いたしました。(4月27日～5月17日)

全国の皆様から2,413万6,272円の募金をお寄せいただき、これにテレビ朝日に設置された募金箱やテレビ朝日などからの寄付金を加えた総額は、最終的に2,900万円となりました。

募金は5月22日にテレビ朝日福祉文化事業団を通じて、以下の通り寄託されました。

<寄託先>

(特)国際連合世界食糧計画WFP協会	725万円
(特)ジャパン・プラットフォーム	725万円
日本赤十字社	725万円
(公財)日本ユニセフ協会	725万円
総 計	2,900万円

●北関東・東北豪雨被災者支援

テレビ朝日では、9月に関東地方から東北地方で発生した豪雨災害で被災された方を支援するために「ドラえもん募金」を実施いたしました。(9月14日～27日)

全国の皆様から2,429万7,732円の募金をお寄せいただき、これにテレビ朝日に設置された募金箱やテレビ朝日などからの寄付金を加えた総額は、最終的に2,700万円となりました。

募金は10月5日にテレビ朝日福祉文化事業団を通じて、以下の通り寄託されました。

<寄託先>

茨城県	1,300万円
栃木県	700万円
宮城県	700万円
総 計	2,700万円

<平成27年度事業一覧>

	事業名	名義
児童	児童養護施設の児童対象 出前授業特別講座	主催
	児童養護施設で生活する高校生の海外生活体験の旅	主催
	第3回農村ホームステイ体験の旅	主催
	第4回子どもキラット! 楽演祭	主催
	江戸っ子杯争奪東京都児童福祉施設競技大会2015 野球の部	共催・助成
	児童福祉施設職員のためのワークショップ	共催・助成
	第60回全国里親大会 かがしま大会	共催・助成
	第61回関東甲信越静里親研究協議会 長野大会	後援・助成
	第57回慈彩会展	後援・助成
	こどもの国 ジャンボカルタとり大会・どんど焼き	後援・助成
	中井貴恵朗読公演「音語り あらしのよるに」	協力
	「憩いの家」資金パザー	後援名義
	日本児童養護実践学会第8回研究大会	後援名義
母子	母子のためのテレビ朝日見学体験ツアー	主催
	中井貴恵 with 大人と子供のための読みきかせの会～おおきなかぶ～	共催・助成
障がい者	第7回トウレヴァン コンチェルト	主催
	第38回車椅子バスケットボール秋季大会	共催・助成
	第39回ハンディスキー全国親善大会	共催・助成
	内閣総理大臣杯争奪第43回日本車椅子バスケットボール選手権大会	後援・助成
	第9回全東京ろう社会人軟式野球TDリーグ戦	後援・助成
	第31回DPI（障害者インターナショナル）日本会議全国集会 in 福島	後援・助成
	チャレンジキャンプ	後援・助成
	日本車椅子バスケットボール連盟第12回ジュニア選手育成講習会	後援・助成
	第19回電動車椅子サッカー関東大会	後援・助成
	第40回記念全日本ろう社会人軟式野球選手権大会	後援・助成
	第30回記念全日本視覚障害者柔道大会	後援・助成
	第7回はーとふるメッセ実りの集い ～はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー2015～	後援・助成
	厚生労働大臣杯争奪第45回全国身体障害者スキー大会	後援・助成
	障がい者施設などに対する設備助成	助成
	むさしの会サマーキャンプ	助成
	第38回わらじの会 夏合宿	助成
	第32回全国高校生の手話によるスピーチコンテスト	後援
	第63回全国盲人福祉施設大会	後援名義
	第53回「弘済学園 わたしたちが創る展」	後援名義
	わんぱくクラブ育成会「渡辺真知子コンサート」	後援名義
高齢者	高齢者施設訪問	主催
	けやき坂カルチャー教室	共催
	中井貴恵朗読公演「音語り 東京物語～小津安二郎映画を聞く～」	共催
	第7回国際シニア合唱祭「ゴールデンウェーブ in 横浜」	特別後援・助成
その他	プロ野球ヤクルト戦入場券プレゼント	助成
	第64回東京都社会福祉大会	協賛名義

<平成27年度会計報告>

●事業活動計算書

自：平成27年4月1日 至：平成28年3月31日

(単位：円)

勘定科目			当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)－(B)
サービス活動増減の部	収益	寄附金収益	35,567,772	0	35,567,772
		事業収益	0	0	0
		その他の収益	0	0	0
		サービス活動収益計(1)	35,567,772	0	35,567,772
	費用	人件費	1,603,235	0	1,603,235
		事業費(①+②+③+④+⑤)	50,134,637	0	50,134,637
		①児童福祉費	15,425,721	0	15,425,721
		②高齢者福祉費	8,288,996	0	8,288,996
		③障がい者福祉費	19,197,912	0	19,197,912
		④母子福祉費	967,497	0	967,497
		⑤その他事業費	6,254,511	0	6,254,511
		事務費	1,407,422	0	1,407,422
		基金組入額	0	0	0
		減価償却費	0	0	0
サービス活動費用計(2)	53,145,294	0	53,145,294		
サービス活動増減差額(3)＝(1)－(2)		-17,577,522	0	-17,577,522	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	3,134,855	0	3,134,855
		有価証券売却益	0	0	0
		投資有価証券売却益	0	0	0
		その他のサービス活動外収益	0	0	0
		サービス活動外収益計(4)	3,134,855	0	3,134,855
	費用	有価証券売却損	0	0	0
		投資有価証券売却損	0	0	0
		その他のサービス活動外費用	0	0	0
		サービス活動外費用計(5)	0	0	0
サービス活動外増減差額(6)＝(4)－(5)		3,134,855	0	3,134,855	
経常増減差額(7)＝(3)＋(6)		-14,442,667	0	-14,442,667	
特別増減の部	収益	固定資産受贈額	0	0	0
		固定資産売却益	0	0	0
		その他の特別収益	0	0	0
		特別収益計(8)	0	0	0
	費用	基本金組入額	0	0	0
		固定資産売却損・処分損	0	0	0
		その他の特別損失	0	0	0
		特別費用計(9)	0	0	0
	特別増減差額(10)＝(8)－(9)		0	0	0
当期活動増減差額(11)＝(7)＋(10)		-14,442,667	0	-14,442,667	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	31,304,489	0	31,304,489	
	当期末繰越活動増減差額(13)＝(11)＋(12)	16,861,822	0	16,861,822	
	基本金取崩額(14)	0	0	0	
	基金取崩額(15)	30,000,000	0	30,000,000	
	その他の積立金取崩額(16)	0	0	0	
	その他の積立金積立額(17)	0	0	0	
	次期繰越活動増減差額(18)＝(13)＋(14)＋(15)＋(16)－(17)	46,861,822	0	46,861,822	

＜その他＞

●平成27年度 ご寄付者の報告

企業・団体・個人の皆さまからご寄付をいただきました。心からお礼申し上げます。

寄付金合計 35,567,772 円

★ 一般寄付 （敬称略）

個人 …………… 7人
企業・団体 ……… 53社・団体
アラコム(株)、ALSOK東京(株)、(株)伊佐梅、(有)おいしいもの研究所、(株)大塚商会、(株)関電工
九州巨人軍愛好会、(株)コマデン、(株)笹谷商事、(株)サンフォニックス、(株)シービーエス
城南質屋協同組合、新日本プロレスリング(株)、ダイダン(株)、(株)台東サービス
(株)竹中工務店、中央ろうきん社会貢献基金、(株)テルミック、(株)テレフィット
(株)東京サウンド・プロダクション、東京原宿ライオンズクラブ、(株)東京美術
東京労働者福祉協議会、東京六本木ライオンズクラブ、西宮神社だるま会
日本歯科衛生協会、日本郵政グループ労働組合東京地方本部、（公財）原田積善会
富士ゼロックス(株)、(株)富士通、(株)ミヤギ、横浜エレベーター(株)東京支店
リゾートトラスト(株)
(株)テレビ朝日、(株)ビーエス朝日、(株)シーエス・ワンテン、テレビ朝日映像(株)
(株)テレビ朝日サービス、(株)テレビ朝日ミュージック、(株)ビデオ・パック・ニッポン
(株)フレックス、シンエイ動画(株)、(株)放送技術社、(株)テイクシステムズ
(株)トラストネットワーク、(株)テレビ朝日クリエイト、(株)テレビ朝日アスク
(株)テレビ朝日ベスト、(株)文化工房 ほか

★ 物資などのご協力 1 社

(株)テレビ朝日

●貸借対照表 平成28年3月31日現在

（単位：円）

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	57,938,354	0	57,938,354	流動負債	973,252	0	973,252
現金預金	57,528,738	0	57,528,738	事業未払金	857,138	0	857,138
仮払金	409,616	0	409,616	その他の未払金	0	0	0
有価証券	0	0	0	預り金	40,933	0	40,933
事業未収金	0	0	0	職員預り金	75,181	0	75,181
未収金	0	0	0	前受金	0	0	0
立替金	0	0	0	仮受金	0	0	0
前払金	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
前払費用	0	0	0				
その他の流動資産	0	0	0				
固定資産	970,000,000	0	970,000,000	固定負債	10,103,280	0	10,103,280
（基本財産）	100,000,000	0	100,000,000	退職給付引当金	10,103,280	0	10,103,280
定期預金	0	0	0	負債の部合計	11,076,532	0	11,076,532
投資有価証券	0	0	0	純 資 産 の 部			
決済性普通預金	100,000,000	0	100,000,000	基本金	0	0	0
（その他の固定資産）	870,000,000	0	870,000,000	基金	970,000,000	0	970,000,000
運用財産	870,000,000	0	870,000,000	基本財産基金	100,000,000	0	100,000,000
退職給付引当資産	0	0	0	運用財産基金	870,000,000	0	870,000,000
投資有価証券	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	0	0	0
その他の固定資産	0	0	0	その他の積立金	0	0	0
				次期繰越活動増減差額	46,861,822	0	46,861,822
				次期繰越活動増減差額	46,861,822	0	46,861,822
				（うち当期活動増減差額）	-14,442,667	0	-14,442,667
				純資産の部合計	1,016,861,822	0	1,016,861,822
資産の部合計	1,027,938,354	0	1,027,938,354	負債及び純資産の部合計	1,027,938,354	0	1,027,938,354

*平成27年度決算報告書より抜粋
*当会計年度より「社会福祉法人会計基準の制定について」（平成28年3月31日、厚生労働省雇用均等・児童家庭局長、厚生労働省社会・援護局長、厚生労働省老健局長通知）に基づき処理を行っているため事業活動計算書および貸借対照表の前年度決済欄には金額を記載していません。

詳細は、当事業団のホームページをご覧ください。

●テレビ朝日福祉文化事業団 役員・評議員

(平成28年3月24日現在)

役職名	氏名	職業
理事長 評議員	早河 洋	株式会社テレビ朝日 代表取締役会長兼CEO
副理事長 評議員	角南 源五	株式会社テレビ朝日 常務取締役
理事 評議員	高橋 利一	社会福祉法人至誠学舎立川 至誠学園 顧問 名誉学園長 法政大学名誉教授
理事 評議員	石野 清治	社会福祉法人同愛記念病院財団 会長
理事	山崎 哲男	弁護士 日比谷見附法律事務所 東京六本木ライオンズクラブ
理事	岩尾 總一郎	医療法人社団茅ヶ崎セントラルクリニック 理事長・院長 医学博士 慶応義塾大学医学部客員教授
評議員	宮沢 成実	元社会福祉法人東京都社会福祉協議会 総務部企画担当
評議員	岩崎 浩三	特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会 理事
評議員	根本 保	元株式会社ピーエス朝日 常勤監査役
評議員	岸田 晟	一般社団法人日本民生文化協会 会長
評議員	東 ちづる	女優 一般社団法人 Get in touch 理事長
評議員	椎橋 敏	公益財団法人原田積善会 専務理事
評議員	香山 敬三	株式会社テレビ朝日 経理局長
評議員	池上 和子	学術博士 赤坂アイ心理臨床センター代表 東京女子大学現代教養学部非常勤講師
評議員	中塚 範之	元社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団 事務局長
監事	平田 和子	税理士 平田和子税理士事務所
監事	若穂井 透	弁護士 日本社会事業大学専門職大学院客員教授

【ご寄付のお願い】

テレビ朝日福祉文化事業団の活動は、皆さまからのご寄付によって支えられています。
当事業団へのご寄付は、特定寄付金となります。個人の場合は所得税の寄付金控除として、
法人の場合は法人税の損金算入の対象となります。
ご寄付は、当事業団が実施する児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、母子福祉ほか
さまざまな社会福祉事業へ充てさせていただきます。
なお、ご寄付の方法は下記のとおりです。

記

- 郵便振替
口座番号 00110-6-761778
口座名(加入者名)「こころの樹」
※通信欄に「寄付金」とご記入ください。
- 現金書留で郵送
〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1 森タワー16階
テレビ朝日福祉文化事業団 行
※連絡先を同封してください。領収書をお送りいたします。
- 銀行振込希望の方は、事務局へご連絡ください。
電話 03-6406-2195 FAX 03-3405-3797



テレビ朝日福祉文化事業団 事業報告
平成27年度(2015年度)
年報 こころの樹
発行人 佐藤佳則

平成28年(2016年)5月27日発行
社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団
〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1 森タワー16階
TEL 03-6406-2195 FAX 03-3405-3797
<http://www.tv-asahi.co.jp/fukushi/>
E-mail : fukushi@tv-asahi.co.jp

※文中の役職等は、その時点での表記といたしました。
※無断転載は禁じます。
©2016 tv-asahi welfare foundation